

隠れなんじいビンゴ

隠れなんじいビンゴとは、ビンゴシート（5×5マス）上の各なんじいデザインピースと、実際に自分が各点在场所から探し出して見つけたなんじいカードを照らし合わせチェック、カードにあるアルファベットを記入。制限時間内に、縦・横・斜めのラインをどれだけ多く作り高得点を目指せるかを競いながら、施設内外の環境に親しむことができる活動です。

1、ねらい

施設の敷地内でのびのびと活動しつつ、観察力を高め、冒険心を満たし、運動量を増やすとともに、仲間との協力、友情を深めます。また、南城市の魅力を感覚的に学習することもできます。施設のどこに何があるか全体を把握し、次の活動の理解を促進する効果もあります。

2、所要時間

約 75 分 ※結果発表等を含め約 90～120 分

3、対象

小学生以上

3、実施方法

- (1) 野外活動のできる服装で、水筒、筆記用具などを準備、指定された場所に集合する。
- (2) 用具【①マップ（ラミ版貸出し）②ビンゴ表&記入シート（ラミ版貸出し）③記入用ホワイトボードペン（貸出し）】。
- (3) スタート前にまわるコースを班員で話し合っって作戦や進行方向を決定し進む。
- (4) スタートは、一斉ににする。
- (5) なんじいデザインピースと同じデザインカードを、色分けされたエリア部分のみの範囲から探して見つけ出し、ビンゴ記入シートの同じデザインピースの空欄へ、カードに書かれた1文字のアルファベットを記入していく。
- (6) 班全員が協力しながら活動し、ゴールは全員そろっていなければゴールできない。
- (7) 振り返りや結果の発表をする。

4、実施上の留意点 ※別紙（団体引率者用）概要説明シートあり

- (1) 班編成は、学年、体力、能力などを配慮し、4～6名程度が望ましい。
- (2) 引率者は、役割分担（スタート、ゴール、パトロール等）を事前に決めておく。
- (3) マップの色塗り以外の場所には立ち入らないようにしっかり伝える（宿泊室内等）。
- (4) 引率者は、敷地内を巡回し安全パトロールを行う。※熱中症、水分補給の声掛け等。
- (5) 活動終了10分前に、放送で終了が近いことを知らせる。※事務所内の放送使用可。
- (6) 見つけたなんじいカードは触ったり剥がそうとしたりしないこと。
- (7) シート等の貸出し用具を使用した場合は、きれいに拭いてから、忘れずに返却する。

5、得点の計算方法（満点で計 100 点）→まずは各デザインピース数字の答え合わせ

- (1) 1ピース正解ごとに各 1 点（★ピースは除く） 計 22 ピース×1 点（満 22 点）
- (2) ★ピースのみ正解ごとに各 6 点 計 3 ピース×6 点（満 18 点）
- (3) さらにライン 1 列そろいにつき 各ライン +5 点（計 12 ラインで満 60 点）

このプログラムは、令和 5 年度大里中学校 2 年 4 組の 5 名（金城梨世さん、飛梅響輝さん、与那国由衣さん、仲地宗冬さん、玉城蒼空さん）が、企業ミッション型 PBL 授業の中で発案、提案してくれたものを採用、実現化したものです。